



豊前総合法律事務所 News Letter

2025年
6月号
VOL.10

大切なご家族のため、また何より、ご自身の人生を充実させるため、お役に立てる情報をお届けいたします。終活・相続に詳しい豊前の弁護士といえば西村だ！と思い出していただけよう頑張ります！

目次

- P1 ◆プライベートのひとこま
- P2 ◆レビュー
- P3 ◆終活に関する名言・格言いろいろ～8～
- P4 ◆こんなときどうする？
- P5 ◆エンディングノートおためしワーク
- P6 ◆お知らせ



プライベートのひとこま

息子に草むしりをしてもらいました！

ちょうど曇り空で涼しく、日差しも控えめでしたので「草むしりをしてもらえると助かるなあ」とお願い。日々の忙しさを言い訳に、庭の雑草を放置すること数週間。どんどん上がる気温とともに、雑草も元気よく伸びています。

第一声は「ええ…」と嫌そうでしたが、範囲を区切ることで交渉が成立しました。さっそく軍手を倉庫に取りに行こうとすると、蛇がシュルシュル～と通り過ぎてビックリ！息子は叫びながら逃げましたが、なんだか嬉しそうな様子でした。その後はバッタやダンゴムシを捕まえつつ、約束の範囲をしっかりと綺麗にしてくれました。

そういえば、祖母と一緒に草むしりをしたときのこと、草刈り鎌を扱う手際の良さに感動したことを思い出しました。今もまだ、祖母には到底追いつきません。もう一度会って、教えてもらえたらなあ、なんてことを、ふと考えたひとときでした。



レビュー【おひとりさまの老後大全】

今回とりあげますのは、令和7年5月29日発行の、新刊です！その名も、「おひとりさまの老後大全」。老後に気になるトピックについて、Q&A形式でまとめられています。その内容も、シニアの働き方から、尿漏れ・腰痛など健康の悩みまで実に様々なものに触れています。

今は「おひとりさま」でない方も

私は今、30代で、元気に働くことができ、配偶者と子ども、そして両親も健在です。それでも、この本を読んでよかったと思っています。

というのも、たとえば親の終活を考えると、そしてお客様と接するときに、ご高齢の方によくある悩みを知ることができたからです。

同じように、読者の方それぞれの視点で、あらたな気づきがあるのではないのでしょうか。



人生100年時代、老後はいつから？

昔と今では、年齢に対するイメージが異なるのではないのでしょうか。サザエさんの父、波平さんが54歳というのですから、驚きですね。それでも放送開始当初は、納得の風貌だったのでしょう。

本書のなかでは、65歳以上、あるいは70歳以上を老後と捉える人が少なくないとされています。それから100歳まで生きるとしたら35年ほどあるのでしょうか。ということは当然、「生き方」も大事になってきます。そして、これまでと違う体の不調があったり、置かれる環境が変わったり、様々な変化も待ち受けています。そんなとき、誰かに相談ができれば安心ですね。

私たちも日々学んでいますが、専門分野というものがあります。6人のプロが書いたこの一冊に触れて、みなさまの不安が少しでも軽くなれば幸いです。



この本は、6月の終活お話し会にも持参します。みなさまと感想を語り合えることを楽しみにしております。

終活に関する名言・格言いろいろ～8～

福沢諭吉さん（1835年～1901年）

弊所では、賞与（ボーナス）支給の際に所長からスタッフに本をプレゼントしています。その一冊、「未来を変える偉人の言葉」という本から、今回は福沢諭吉さんに着目します。

中津市のご出身ということで、みなさまにも紙幣以上のご縁があるのではないのでしょうか。

今回はそんな福沢諭吉さんの名言を紹介いたします。

世の中で一番みにくいことは、
他人の生活をうらやむことです



天は人の上に人をつくらず
人の下に人をつくらずと云へり



さすが学問を究めたお方、現代まで語り継がれる名言は学問に関するものが多くあります。かの有名な「天は人の上に…」の言葉の後も、平等のはずなのに貧富の差が生まれる、だから学問をしっかりとやりなさい、といった言葉が続きます。

さて、終活という視点でみてみますと、福沢諭吉さんは晩年にも1日5時間以上の勉強をしていたほか、居合の稽古や米搗きもしていたとか。晩年の過ごし方といえば、「窓辺でゆっくり」のようなイメージがありますが、福沢諭吉さんはこのような過ごし方を選ばれたのですね。

一方でもちろん、「窓辺でゆっくり」も良いと思います！個人的には、一生懸命働いて家族を支えてくれた祖父母や両親には、できるだけゆっくり人生を楽しんでほしいと思うものです。

みなさまは、どんな人生を生きて来られたでしょうか。そのうえで大事にしたいことや、伝えたい想い、そしてこれからの暮らしを、一緒に考えていけたら幸いです。

こんなときどうする？～友人の話で焦り～

豊前理恵子さん（52歳）は、スーパーマーケットで働くパート職員です。家族は夫と娘と同居していますが、夫も娘もそれぞれ仕事をしています。80代の両親と、夫の両親はまだ健在ですが、やや認知症かな？と感じる出来事があります。

そんな理恵子さんは、毎月パート仲間3人とランチに行くのを楽しみにしています。ランチと言っても、誰かの家に集まって、朝から夕方までずっと話が尽きません。

先月のランチ会では、終活の話になりました。自分たちの終活は「まだピンと来ないわね」という話でしたが、親世代の終活はみんな気にしているようです。中には、つい数日前まで元気だった母が急に倒れて入院になり、一人暮らしになった父のサポートで忙しいという仲間もいました。本当に、いつ何があるか分からないなと実感した理恵子さん。我が家もそろそろ…と思います。なにせ自分の話ではないので難しいところです。



どうなりたい？どうなりたくない？を話題に

自分以外が主人公となる終活を話題にするのは、なかなか億劫になるものです。怒らせないか、不安をあおってしまわないか、気になるところですね。たとえば、「お父さんとお母さんもそろそろ終活しないと」なんて切り出したら、人によっては「葬式の準備なんて、まだ必要ない！」と言われる可能性もあります。

では、どうしたらよいのでしょうか。

一つのアイデアとして、まず「終活」という言葉を使わずに、「どうなりたい？」「どうなりたくない？」を話題にしてはいかがでしょうか。

あるいは、終活をしている有名人の方を話題にしてみるという手もありますね。実は、弊所が行っているセミナーでは、有名人の方を話題にすると、みなさまの反応が良くなるのです。

終活は人生の話。みなさまがいつも話していることの視点をすこし長めにしていただくだけで、新たな発見があるものです。そしてなにより、義務感ではなく「大事なあなたの話が聴きたい」という気持ちで、お話をさせてみてください。



エンディングノートの意義と活用術 ～10～

毎月開催している「終活お話し会」では、エンディングノートの1ページを一緒に書きましょう！というワークを行っています。

無料で、2つ穴ファイルをプレゼントしていますので、1ページずつ書き溜めていただくと、エンディングノート（ファイル）ができあがる、という仕組みにしております。

最近では書店でも様々なエンディングノートが並んでいますが、やはり一冊まるまる書き上げるのはなかなかの労力が要ります。

そこで、1ページずつ一緒に出会っていくことで、ひとつひとつの視点ごとに人生と向き合っていく機会になるのでは、という趣旨です。

よろしければ、ここで少し書き込んでみませんか？

テーマは、「食べもの」です (*^^*)



〈今の暮らし〉

◆毎日のように食べているもの：_____

◆大好物：_____

◆アレルギーがあるもの：_____

〈思い出〉

◆最高に美味しかったものベスト3：①_____

②_____

③_____

〈これからの楽しみ〉

◆もう一度食べたいもの：_____

◆それを一緒に味わいたい人：_____

ありがとうございました！

こうして書いてみると、味だけでなく人との思い出が強く記憶に残っている方も多いのではないのでしょうか。お役に立てたら幸いです。

お知らせ



終活お話し会、毎月開催中です！

まさか揉めたりしないよね？

もし認知症になったら？

音信不通の家族、どうする？

遠くの両親が心配…

遺言書って必要？



あの人には渡したくない

親の話に納得できない

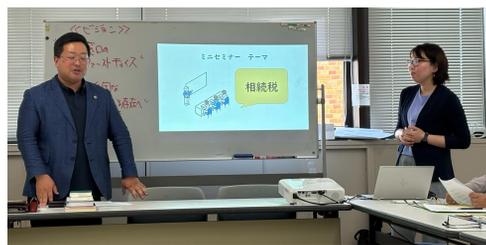
秘密にしていることがある

こんな終活のモヤモヤ、わたしたちと語り合いませんか？

あたたかい雰囲気、毎回異なるテーマに合わせて終活と向き合っていきます。毎回弁護士が参加しますので、「こういうのは法的にどうなの？」「こうしようと思うけど、揉める可能性は高い？」など、ちょっと疑問に思ったことを気軽にお尋ねいただけます！

ただ、終活では、人生のこと・人間のことに触れていきます。そのため、「こういう決まりがある」というだけでは、解決しないこともあるでしょう。

あるいは他のご参加者様のお話から、意外な気づきが得られるかもしれません。



次回の終活お話し会は…

- 語り合うテーマ：やっぱり気になる 自筆証書遺言！
- ミニセミナーテーマ：リクエストにお答えします！
- エンディングノートを書いてみるワーク
- ・6月13日（金）14：30～16：30
- ・豊前市総合福祉センター 視聴覚室
- ・ご参加無料 / ご予約不要

より広い会場になります！

お問い合わせ：080-3948-9102（西村愛）

発行元 豊前総合法律事務所

〒828-0028

豊前市青豊19-14スペースI

TEL：0979-53-9106

FAX：0979-53-9107

開所時間：平日9時～18時

相続専門ホームページ

